

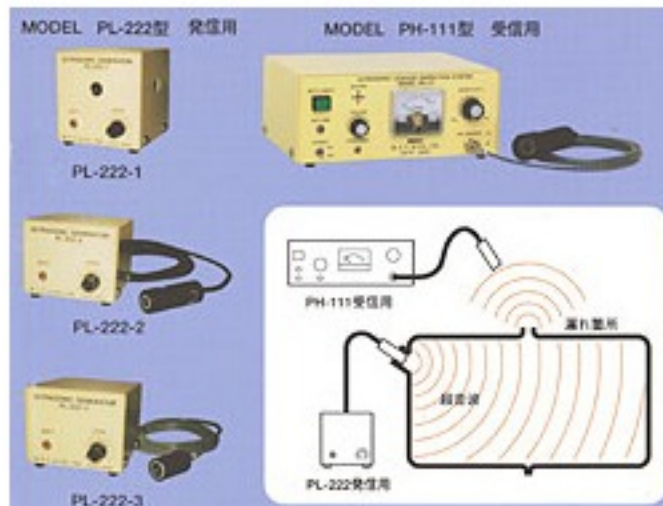
超音波無圧式洩れ検査装置

概要・品質・性能

本システムは密閉された容器内で超音波を発振し、容器外に洩れてくる超音波を測定するもの。

他の液体や気体また石鹸などを使用した洩れ検査に比べ、洩れ箇所を特定できる、検査前後の処理が不要、判定時間が短い(0.15~1.0sec)、洩れの有無を音と光で知らせるので測定が容易、機動性に優れ検査場所を選ばない、検知最小穴径0.01 μ m、等の特徴を有する世界に類のない超音波による洩れ検査装置で、その適用対象は大小を問わず製造部門、メンテナンス部門などさまざまな分野で使用できる。

日本非破壊検査協会規格「超音波リーク試験方法」(NDIS3420:2000)に制定される(H12.4.27)。



用途

- (1) 自動車・家電関係の製造部門(溶接部・密閉部・シール部等)の洩れ検査
- (2) その他各種メーカーの検査部門

技術移転

- (1) 形態 特許売却(交渉)
- (2) 相手先 自動車・電気関係メーカー
- (3) 地域 国内・海外いずれでもよい

実用化・情報

[試作・実験] 完了
 [製造・販売実績] 有り
 [技術情報の提供] 特許広報、パンフレット
 [連絡先] (財)りそな中小企業振興財団 事務局
 TEL.03-3444-9541 FAX.03-3444-9546

特許等

特許番号：特許第3725748号
 特許権者：(株)エム・イー・シー
 登録日：平成17年9月30日